



【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。児童用には教室に先生方が掲示していただいています。()】

東小児童のみなさん朝の東ショウタイム頑張りましたね(_-)-☆

(9月4日から9月30日の練習期間と2回のテストを経て)

2025: 漢字コンクールを開催しました

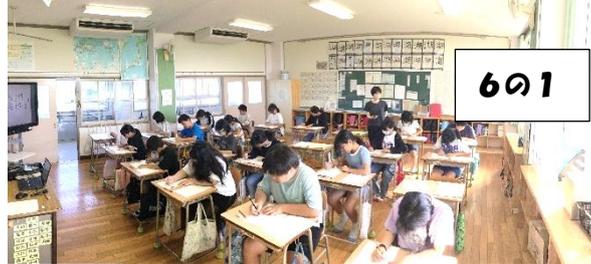
文化庁文化審議会国語部会の主宰者で、早稲田大学の笹原宏之教授の著書「漢字に求められる役割と教育」の巻末には次のように示されています。漢字という文字は、語を表記し伝達するだけでなく、字面に表情や風景が感じられたり、繊細な意味やニュアンスを帯びたりしている。<中 略>漢字を使いこなせない人がダメだ、とか即断せず、かつ漢字の魅力に押し流されず、子ども達から大人まで情報社会の中で柔軟に付き合い、コミュニケーションツールとしても適切に使っていただけるように、教師も子どもも保護者も一人一人が根拠となる事実を学び、しっかりと考え、次世代に伝えていく必要がある。と示されています。終わりに、「児童は、間違えては覚え直すことを繰り返して成長する。」と間違えてもチャレンジし続けることの大切さも記されています。また、便利ツールである漢字を嫌いにならないためにも「× 間違えたから 10 回書きなさいとかはさせない。」「× 未習の漢字を使って間違えても叱らない。」「止めはねもあまり厳しく×はつけなくていいものの習慣を意識して丁寧に書く配慮の必要性も教える。」と漢字を書くことをきらいにさせたくない笹原教授の思いが伝わってきました。以上の点から本校では、学校通信81号にも述べましたが、漢字コンクールを3部門(①チャレンジ部門②マスター部門 ③総合部門で表彰したいと考えます。では、朝学：東ショウタイムの様子を写真でご紹介いたします。1年生さんの写真は「コンクールにチャレンジしたぞ〜オウ!」のポーズです。6年生さんは 100 マス計算中のフォトショットです。



6の3



6の2



6の1



5の3



5の1



5の2

運動会当日の 10/25 まで水筒にイオン飲料OKです!





4の1



4の3



4の2



3の1



3の2



2の2



2の1



1の1



1の2

この度、本校の専科教員として主に5年生の社会科を中心に全校のお子様の学習指導に携わってくださいます先生がお見えになりました。その方のお名前は   **城丸広基先生**です。(-)

どうぞよろしくお願いたします。現在、城丸先生は、お忙しい中、若菜小学校と兼務でご指導いただきます。城丸先生は私の大先輩であり、飯塚市内や田川郡で校長先生として子ども達が笑顔になる学校づくりや特色ある学校経営でご活躍されたキャリアをお持ちの素敵な先生でございます。やっと願いが叶いましたので皆様にご紹介いたします。城丸先生の大切にされているお言葉は「努力とチャレンジ」だそうです。私もまだまだチャレンジをつけて子ども達をより良い方向に導けるよう努力してまいります。来ていただき有難うございます。(-)

ビッグニュースです

先生のご紹介です 

